

固定費の配分の検討

単位:千円

需要家費	固定費	変動費
420,955	8,353,381	515,503

↑ 控除額を考慮

固定費を全額基本料金に配分

基本料金	8,353,381	100.00%
従量料金	0	0.00%

【給水量の変動に着目した配分方法】

① 負荷率

固定費に対し、最大給水量に対する最大給水量と平均給水量の差の比率を乗じて得た額を基本料金とし、残余の固定費を水量料金とする方法

最大給水量	174,285	R7~R11合計
平均給水量	149,886	R7~R11合計

基本料金	1,169,430	14.0%
水量料金	7,183,951	86.0%

② 配給水部門

固定費総額のうち、配給水部門を基本料金とし、他は水量料金とする方法

基本料金	1,416,407	17.0%
水量料金	6,936,974	83.0%

【予備的能力に着目した配分方法】

③ 施設利用率

固定費に対して、浄水施設能力に対する浄水施設能力と平均給水量の差の比率を乗じて得た額を基本料金とし、残余の固定費水量料金とする方法

施設能力	259,450	←R2水道統計
------	---------	---------

基本料金	3,527,577	42.2%
水量料金	4,825,804	57.8%

④ 最大稼働率

固定費に対して、浄水施設能力に対する浄水施設能力と最大給水量の差の比率を乗じて得た額を基本料金とし、残余の固定費水量料金とする方法

基本料金	2,742,015	32.8%
水量料金	5,611,366	67.2%

実績

令和4年度の実績		
基本料金	337,952	31.0%
水量料金	752,075	69.0%

令和3年度の実績		
基本料金	335,496	29.4%
水量料金	804,340	70.6%

